ふかまちのまど

第一八七号　〇九年十二月一日
発行元　深町町内会連合会
連絡先　☎六三―三八八一

町内会連合会活動報告

ターゲット・バードゴルフ　連覇!!

ターゲット・バードゴルフ担当　天木雅之

第五回三原市民ターゲット・バードゴルフ大会が十一月十五日（日）、三原運動公園陸上競技場において開催されました。当日は強風と寒さで厳しい中、スコアメイクに悪戦苦闘しました。三原市より二十チーム総勢六十名の参加がありました。深町からは前年度より一チーム多い四チーム十二名の選手が出場しました。

成績は次の通りです。

◇団体の部
優勝　高崎修・谷岡義昭・志水孝則
四位　西本一二三・巻幡幸秀・天木雅之
十位　頼兼義詔・林洋祐・佐野容子
十七位　麓　正徳・石井張司・岩野秀明

◇個人の部
三位高崎、四位天木、六位志水、九位谷岡・巻幡、十五位西本、十九位佐野、三二位林、四十位石井、四三位頼兼、五二位麓、五三位岩野

◇当日賞
十五位　西本

※敬称略

今大会は連覇のかかったプレッシャーがありました。一年を通して練習をした成果が出たように思います。出場された選手のみなさん大変ご苦労様でした。来年に向けて一層の練習にはげみ連覇したいと思います。他の団体の大会にも進んで参加して腕を上げたいと考えています。町内のみなさん、是非練習にご参加してみませんか！　63―2290▲▲

広島県知事選挙投票状況：深町・中之町南分
平成２１年１１月８日執行

性別	当日有権者数（人）	投票者数（人）	投票率(%)
男	488	140	28.69
女	535	126	23.55
計	1,023	266	26.00

※投票者数は期日前投票、不在者投票を含む。
◎広島県投票率：33.71%。三原市投票率：32.76%。

歩く会にご参加を

健康づくり推進員　高崎修

浄土寺山周遊
行程　十二月十一日（金）
八時　上組公民館出発（車）
八時半　尾道市民病院着
浄土寺山と周辺の周遊
十一時　周遊終了帰路へ（車）
十一時半　帰着予定
▲▲

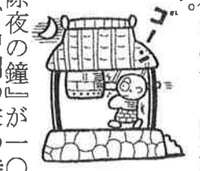
「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http：//www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html

深小だより

師走

深小学校長　山本　惠司

いよいよ十二月です。毎月の最終日を「晦日」と言い、一番最終日を「大晦日」と言います。そして、旧年を「取り去る」または「除ける日」という意味で、大晦日のことを「除日」とも言い、「除日」の夜なので「除夜」と言うそうです。



ところで、『除夜の鐘』が一〇八つというのは、中国の宋の時代からの仏教の儀式ですが、ちなみに、この一〇八つの数は、もともとは、この一年ケ月二四節季、そして三等分した七二候を足した数というのだそうです。最近では『煩悩の数』だというほうが一般的になりました。

知られるようになりました。そもそも【煩悩】とは、人の心や体に潜む欲望だと言われます。【煩悩】の数が一〇八つというのは、次のように考えるのだそうです。

人には、物事や世界を認識する六つの物理的なもの→「六根」があり、悟りを開く妨げとなる六つの心理的なもの→「六塵」がある。

六根とは、眼・耳・鼻・舌・身・意の六つ。

六塵とは、色・声・香・味・触・法の六つ。

それぞれ「好」・「悪」・「平」の三種類の状態があるので合計三六個。更にそれぞれは、「過去」・「現在」・「未来」の時間があるので、全部で一〇八つということだそうです。

これらの悪しかしながら、【煩悩】すなわち欲望はよくありませんが、明らかに悪いものです。常にそっぽを向いている学校教育目標「自ら学び、感性豊かな、笑顔いっぱいの子、保護者・地域の皆様方のご助言を賜りながら、ご指導・ご協力を願いたいものです。学年末、ありがとうございました。▲▲

中組町内会だより

兵庫県姫路市太陽公園の旅

中組町内会長　麓　正徳

中組町内会日帰りの旅、十一月八日バス二台で、一路姫路城へ午前八時深町を出発し十一時前に到着、ひとめ見るや広い城屋敷内にそびえ立つ天守閣、さすがに世界文化遺産としての風格のある城です。

西国造城は天正八年（一五八〇年）攻略の根拠地として入城した羽柴秀吉が翌九年三層の天守閣を完成させ、以後、関ヶ原の一六年（一六一一）慶長の歳月を費やし、徳川家康が完成した城壁の五層七階の天守閣に造営された唯一の役徳の人、江戸時代初めに造営された多くの歴史人物の中に残る熱意によって長い歴史の努力です。

城内観光客で、昼食を入園時間は全部二時間ほどでしたが、外国人の人、多くの周囲にはこれからも太陽公園は公園に午後三十分ほどの公園は城園に到着しました。

ここのエリアがあり、どちらも石のエリアは素晴らしいもの風景で、行って見たいもの風景でした。

当日は暖かく汗ばむほどの晴天で一日の旅も楽しく過ごせました。深町到着は十九時で、なにごともなくよき旅でした。▲▲

子ども会だより

創作大会参加

子ども会会長　松本雅志

十月二十四日（土）、三原リージョンプラザ、中央公民館にて創作大会が開かれました。プラ版作りには、十四名が参加し、キャラクターまんがのキーホルダーを作りました。

各一砂絵、キャンドル作りには、名が参加し、親子で作品作り創作大会は三原市生涯学習フェスティバルの一環で開催されており、当日は他団体の屋台や親子クイズゲーム等もあり、共々楽しみました。▲▲

深町子どもを守る会

子どもをみんなで守りましょう

深小の子どもは
○午後四時頃　下校します。
※日によって、異なることがあります。
○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。
○あいさつ、声かけをしましょう。

謹んでお悔やみ申し上げます

谷口　佐可次　様（下組）　七六歳
高崎　スギエ　様（中組）　十一月十四日
田屋講）　九八歳
十一月十九日

深町各種団体十二月行事予定

◆小学校・幼稚園
▼子ども国際教室・PTA役員会　四日
▼学校評議委員会・保健指導（幼）　七日
▼誕生会（幼）　十日
▼学区児童会　十四日
▼交通指導・子ども教室　十四日
▼ぴよぴよハウス（幼）・クリスマス会（幼）　十八日
▼終業式・個人懇談　二二日
▼学校保健衛生委員会　二四日
◆如水館中学・高校
▼期末試験　一～四日
▼終業式　九日
▼保護者会　二一～二二日

お知らせ

先日、三原テレビ放送（株）に加入申し込みがあった方は、十二月二十日まで受付けを延期してもらっていますので、各自で同社までお申し込みください。

世話人代表　広川弘之

展望席

小学六年生の頃、十二月のある日、同級生三人で深小学校の裏山を登って家に帰ったことがありました。ところが、山の頂上から直に開けた所（開拓地の果樹畑）へ出られるはずだったのですが、次第に山の中へ中へと入って行きました。しばらくすると近くで「ズドン」という猟銃の音がしたので、びっくりして慌てて元の頂上の所へ引き返しました。頂上にはもう一つ別の道がありました。道を間違えていたのは言うまでもありません。

道（路）には様々な道が無数にあります。人が歩く道、車が走る道、国道、地方道、里道、山道、けもの道、空路、人工衛星の軌道、海路、鉄道、真っ直ぐな道、曲がった道、分れ道、迷い道、人の道、学問の道、芸の道、武士の道、塩の道、絹の道、道ならぬ道、恋の路、道なき道・・・等々。

先祖や先輩たちは、苦労に苦労を重ねて多種多様な道をつくってくれています。道のない所には繁栄もありません。道はとても大切ですが、今は道をつくることには色々な角度から論議がされています。

十二月大晦日は、短い一年間であったようでも振り返ってみると、皆それぞれの道を時間をかけて歩いて、今年の頂上に辿りついた日だと思います。年が明けて、また新しい一年間の道を歩むことになります。せめて人の道だけは外さないように心眼を開き、しっかりと足を地に着けて間違いや迷いのない道を歩いて行きたいと思います。

パキスタン・カラチに暮らす

第十回「カラチのお酒事情」

中組　福島　健作（尾道市立因北小教諭）

パキスタンはイスラム国家です。イスラムの教えでは、お酒を飲むことは禁じられています。しかし、パキスタン国内でも、お酒を手に入れる方法があります。

一つ目は、外国人である証明をしてお酒を買う許可証を得ることです。私たちパキスタンに在住する外国人は、イスラム教徒でないため、この登録をすることでパキスタン国内に輸入される主にヨーロッパのワインやビールを買うことができるのです。ただ、輸入されたお酒は、パキスタンの首都イスラマバードからはるばる陸輸されてくるため、夏季の最高気温四十度を越す時期は、ワインが少々すっぱくなるのが難点です。

二つ目は、現地のビール（いわゆる地ビール）を買うことです。

パキスタンの地ビール「マリービール」

イスラムの国で地ビールが手に入ること自体不思議なことですが、パキスタンには、国民の約十%弱の人々がイスラム以外の宗教に属します。その中のキリスト教徒が「マリービール」と言う名のビールを作っているのです。

マリービールの味は、ほんのり酸味が利いていて、日本でもお馴染みの地ビールのような感じです。慣れると結構いけます。一説によると、日本のビールよりも歴史は古いようです。

難点は、ビンの密封工程の関係か、ビール一本一本の炭酸の量がまちまちで、中にはまったく炭酸が抜けている場合があることです。また、カラチの街にもある販売所は、商店街の裏側の倉庫の奥の鉄格子の中にあり、ビールを買うにはちょっとしたスリルを味わうことができます。

表向きは禁酒の国パキスタンですが、実際にはお酒を飲む人も多いと聞きます。しかし、取り締まりは厳しいため、自家醸造のお酒もあるようです。私たちの滞在中も、毎年のようにメチールアルコール中毒で亡くなった人たちの記事を新聞で見ました。

これからの季節、流石に日本のようなクリスマスを祝うパーティーはパキスタンにはありません。しかし、偶然なのか、パキスタン独立の父と呼ばれる「ジンナー」の誕生日が十二月二十五日で、盛大なパーティーがあちらこちらで開かれます。

（次号へ続く）▲▲

下組町内会だより

下組第二回親睦旅行　小豆島の旅に想う

下組町内会長　寺田　弘

二、三日前より心配していました天気も当日朝は霧がかっていましたが、段々と晴れ上がり午前七時に気分良く出発致しました。山陽自動車道も殆んど渋滞もなく予定より早目に新岡山港に到着し、幸運にも一便早く乗船する事ができ一時間余り、心地よい潮風を頬に、金波、銀波の瀬戸内を満喫しながら、滑るようにゆっくりと（小豆島）土庄港に到着したが、『小豆島国際ホテル』での入浴、昼食が十一時の予約の為、港界限を散策する事になりました。

小豆島出身の作家、壺井栄の不朽の名作（二十四の瞳）の像付近でおもいおもいに写真を撮ったり、商店街を覗いたりし、オリーブの木等を眺めて時間を費やして、ようやくホテルに入り、まずは風呂へと。それぞれ裸のつきあいであり、コミュニケーションをはかる一番の社交場ではないかと思いますが半数の方が入浴されなかったのが残念でした。

食事も和気あいあいとビールなど、料理に箸をつけ楽しく過ごしてホテルを後に寒霞渓へとむかい観光客で混雑したが展望台など散策してロープウエイで降りてから次の先述の二十四の瞳の映画村、岬の分教場へと足を運ぶ。ここは昔懐かしいボンネットバス、学校舎、机、椅子、自転車、色々な店屋があり、その中にはチンチン独楽、ニッキ水、ラムネ等があり、私事ながら子供の頃の記憶がいっぺんに蘇った気がし又、小学校四年生ごろに学校から映画（二十四の瞳、高峰秀子主演）を観にいった事を今でも覚えています。

懐かしさもこれくらいにして次はオリーブ記念館で四十分程度散策して帰途へとバスは一路土庄港に。ここでも運よくすぐ乗船する事が出来、一時間余りで岡山港へと往きも帰りもスムーズに渋滞もなく、なおかつバス内では添乗員が面白おかしく綾小路公麿みたいであり、笑い過ぎて涙がでるほど愉快に楽しい旅で何のトラブルも無く午後八時半ごろ予定どおり無事に帰着致しました。これもひとえに参加者のご協力と町内会役員、乗務員、五班の吉岡様（中国バス勤務）の数々のご配慮に感謝し厚くお礼申し上げます。▲▲

短歌・俳句・詩

中組　仲峠講　竹内ひろみつ

夏病みの癒えぬがままに霜月を　迎えて妻と干柿を剥く

長々と塀に伸びたる穴まどひ　欠伸するごと頭持ち上げ

この年も秋の便りに深の柿　送りし人の笑顔思うる

▲▲

職場体験を通して

三原二中　二年　村田　茜

私の職場体験は美容院です。私はこの職業に「髪を切ったり、染めたりする華やかなイメージ」を持っていましたが、実際に体験してみると、それはお客様へのサービスの一部であって、とても重労働だということを実感しました。私の仕事は掃除、洗濯、道具の洗い物で、想像していた華やかな仕事はできませんでした。お客様から「また来たい」と思われるような店にするために、店内の掃除をしたり、お客様への「言葉づかい」や「気配り」例えば、切った髪が床に落ちたら素早く片付けるといった小さな、けれど重要な仕事が大切であることを学びました。

この「職場体験」を通してよかったなと思ったことは、ふだんの生活では全くできないことができたことです。マネキンの髪にロットを巻いたり、洗髪の手順を教わったりできたことです。これらの薬剤、洗剤を扱うのでお客様は体に触れないように気をつけなければなりません。とても緊張する仕事でしたが、やりがいがありました。

また、私がうれしかったことは、お客様から「ありがとう」と声をかけてもらったり、話しかけてもらえたことです。ふだんの生活の中では本当にごく自然な一言なのですが、職場で体験してみると、とても「大切な言葉」だなと実感しました。

この「体験」は真剣に将来の職業について考えさせてくれ、両親の毎日の「仕事」のつらさをも気づかせてくれました。

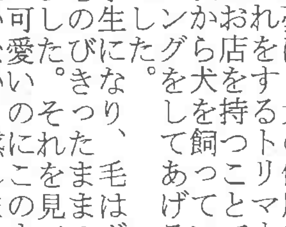
私は、この一週間の「職場体験」を通して、相手への気配り、配慮できる人間に、さらに「言葉」を大切に相手に投げかけられる人間になりたいと思いました。▲▲

私の夢・トリマー

如水館高校三年　小川夏歩

私の夢は、犬の健康管理や毛の手入れをするトリマーになり、自分のお店を持つことです。小さい頃から犬を飼っていて、ブラッシングをしてあげるのが大好きでした。

小学生になり、毛はボサボサで爪ものびきったままの野良犬を見ました。それを見て、せっかくの可愛いのにこのままだともったいないと感じました。しかし、その頃はトリマーという職業を知らず他人事でした。



しかし、中学生になり、パソコンで職業を調べる授業がありました。そこでトリマーという職業があることを知り、迷わずトリマーになりたいと強く思い始めました。高校生になり、中学生の頃より強くトリマーになりたいと感じました。深くトリマーの仕事をし、自分流のお店も出したいと思っています。高校卒業後は、トリマーの専門学校へ進学するので、そこで一生懸命腕を磨き、夢に向けて頑張りたいと思います。

また、もうひとつ大きな夢があります。それは、保健所にいる犬を救ってあげることです。中学生の時、『パオの物語』という本を読んで保健所の現実を知りました。

人間の勝手な行動で犬が死んでいくのは、どうしても許せないです。しかし、現実的には保健所にいる犬すべてを救うのは難しいです。たとえ救えたとしても、きちんと養っていかなければ、逆に犬を苦しめてしまいます。しかし、あるテレビで保健所にいる犬を救っている人達がいることを知りました。とても簡単に出来ることではないですが、私も出来ることから活動していきたいです。

以上のことが私の将来叶えたい夢です。せっかく持てた夢なのでムダにせず必ず叶えていきたいと思います。応援して下さい。▲▲

ピッコロだより

（知的障害者授産施設）

感謝祭のお礼

師走の声を聞くとなんとなくあわただしくなってきます。先月行われた〃ピッコロ感謝祭〃多数のご参加をいただき、有り難うございます。葉ボタンの寄せ植え、花ポット、具沢山の豚汁等、いかがでしたか？又、篠笛も奏でられましたが感想はいかがでしたか？めまぐるしい世の中、ほんの一息、のんびりとした気持になられたのではないでしょうか？

感謝祭には、利用者も事前の準備、当日は大きな声で接客にあたり、一丸となって感謝におこたえいたしました。これからもよろしくお願いします。

サイネリア、ポリアン、パンジー、ビオラ、まだまだ、皆様のお買い上げ待っています。▲▲